

宝尽くし・福の神・お正月

中国の八宝文様はっ ほうが日本に伝わり、日本的な宝物と置き換えられてできたのが、日本の宝尽くし文様といわれています。如意宝珠にょ い ほう じゅ、宝鑰ほう やく（鍵かぎ）、打出の小槌うち での金囊きん のう（袋ちよう じ）、隠れ簀かく みの、隠れ笠がさ、花輪かな わ違いちが（七宝しち ほう）、金函きん かんなどがあります。

七福神は恵比須び しやもん、大黒天だい かく てん、毘沙門天び しやもん、弁財天べん さい てん、福祿寿ふく りく じう、寿老人じう じん、布袋ぶくろの七柱の福をもたらす神様。七福神が乗った宝物を積んだ帆船を宝船といい、その絵を正月2日に枕の下に入れて寝るとよい初夢を見ると信じられています。そして初夢に見ると縁起のよいものを表す「一富士二鷹三茄子」ということわざもあります。

またその年の干支、お正月の風物を表す図様も吉祥意匠の一つとされます。